



2026年3月26日

株式会社あいち銀行

NTT データ地銀共同センターの「共助モデル」高度化に参画
 ～モノ・ナレッジ・ヒトの相互共助により、地域金融機関の共通課題に対応～

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、株式会社NTTデータと地銀共同センター（注1）参加行とともに、新たな共助モデルの高度化に取り組むことを下記のとおりお知らせいたします。

記

将来的な人口減少、IT人材不足、高度化・巧妙化するサイバー攻撃、AI等の新技術への対応などの急速な環境変化を見据え、システム共同利用の枠組みを超え、業務プロセスにも踏み込んだ「新たな共助モデル」への進化が不可欠であると判断しました。

具体的には、金融庁「金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン」に基づく対策高度化の共同推進、融資をはじめとする専門性の高い業務の高度化・省力化を目指したAIサービスの実装・共同研究、デジタル技術を活用したオペレーション改革の共同検討を開始しています。

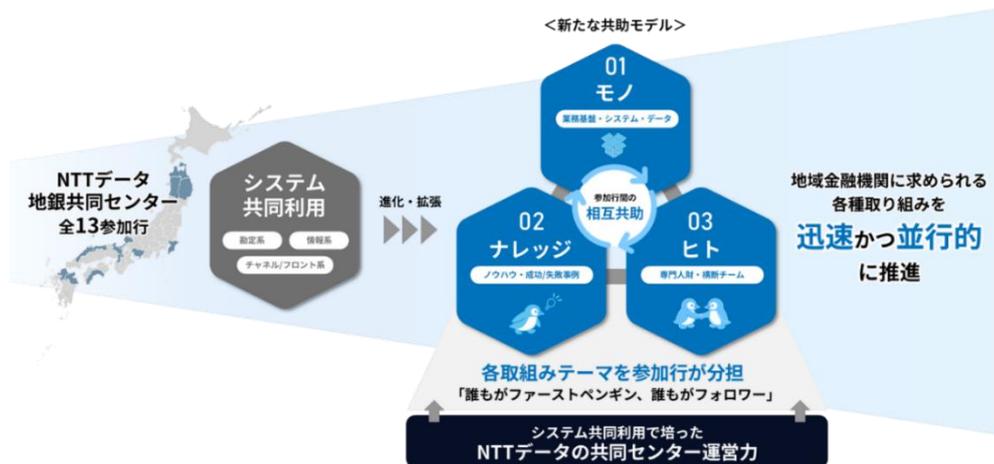


図1. 地銀共同センターが目指す共助モデルの高度化・拡張イメージ

本共助モデルは、参加行が「モノ・ナレッジ・ヒト」の3要素を相互に活用し、支え合いながら全体最適を実現する取組みです。安心・安全で持続可能な金融サービスを提供することで、お客さまにより一層質の高いサービスをお届けできるよう努めてまいります。

<本取組みにより当行が実現すること>

- ・周辺システムやツールの共通化によるコスト最適化
- ・生成 AI の有効活用による効率化促進
- ・制度改正・技術変化への迅速な対応
- ・専門人材の相互活用による対応力向上
- ・強固なサイバーセキュリティ体制の構築

(注1) NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

参加行は以下の通り(利用開始および銀行コード順)

京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、あいち銀行、福井銀行、青森みちのく銀行
秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行

以 上